

具体的な取り組み〈2025年度〉

データ集積のための基盤強化・拠点化

6法人の電子カルテからの疾患情報を統合的に取得できる共通医療データベース（6NC-EHRs）の拡充を図り、データベースを利用した研究を支援する。また、データベースの全体像を確認できるサイト「6NC-EHRsショーケース」の一般公開に向けた課題を整理・解決し、公開を開始した。

データ基盤課カウンターパートとの意見交換会を開催し、6法人間での情報共有及び連携を図る。

共同研究の推進

実験・解析基盤のための、あるいは6法人連携が効果的な新規横断的研究推進事業の立ち上げを図る。

2025年度までに開始している横断的研究推進事業について、各課題の進捗管理や課題評価を実施し、効果的な研究開発の推進・事業化等に取り組む。また、関連する大型研究費の獲得を目指した支援や、6法人連携の研究開発基盤整備の推進に取り組む。

6法人連携若手研究助成について周知・啓発し、各課題の進捗を支援し、効果的な研究開発の推進等に取り組む。

課題実施に伴う、企業・アカデミア等との交渉支援を実施する。

各法人内の患者レジストリにおける法人間の研究連携を支援・強化する。

知財・法務

各法人の知財・法務・産学連携に関する課題を共有するとともに、その支援に関する情報共有等の連携を推進する。

6法人に共通する課題を解決するために知財・法務相談を提供し、その成果を6法人に還元する。

知財・法務に関する知識・情報を提供するコンテンツを作成し、ICR-web上に配信する。

広報・総務

Webサイトの充実を図るとともに、6法人間の連携による取り組み等について、国民を始め企業やアカデミアに幅広く情報提供を行う。

JH研究課題の成果に関して、プレスリリースなどを通じて情報発信を行う。

Webサイトアクセス数について、研究課題やJHの活動成果の発信を推進することにより増加を目指す。

各法人のSNSを通じて、JHの認知度向上を図る。

人材育成

研究支援人材の育成支援体制の構築に取り組む。特に若手生物統計部門においては、6法人が連携し実務を通して若手人材の育成支援を行う。

疾患領域横断的な人材育成のために、6法人横断的な教育コンテンツのWeb配信による教育機会の提供を行う。

英語校正アプリを導入し、英語論文等の作成を支援する。



ロゴデザインコンセプト

— Logo Design Concept —

「医療の未来には、無限の可能性がある」をメインコンセプトにデザインされました。人々や分子の象徴でもある6つのモチーフが、あたかも手を携えるように円陣を組みながら連携することで世界の頂を目指す勢い感と、組織としての安定感を表現しています。中心の空間は明るい光、まっさらの未来を表しています。その中心に、略称JHを配置することで、JHが医療研究の未来を切り開いていくチャレンジの姿勢を表現しました。色彩は、連携する6つのナショナルセンターの多様性を考慮して循環するカラーパレットを用い、無限の可能性を表現しています。

ナショナルセンター 医療研究連携推進本部（JH）

<https://www.japanhealth.jp/index.html> ▶

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

（国立健康危機管理研究機構内）

TEL 03-5273-6856 FAX 03-5273-6857

Email jh-pr@japanhealth.jp



NCCJ 国立研究開発法人
National Cancer Center Japan 国立がん研究センター

88 国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center



国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター
National Center of Neurology and Psychiatry

JHHS 国立健康危機管理研究機構
Japan Institute for Health Security



国立研究開発法人
国立成育医療研究センター
National Center for Child Health and Development

国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター
National Center for Geriatrics and Gerontology



ナショナルセンター
医療研究連携推進本部
Japan Health Research Promotion Bureau

ナショナルセンター医療研究連携推進本部

活動方針

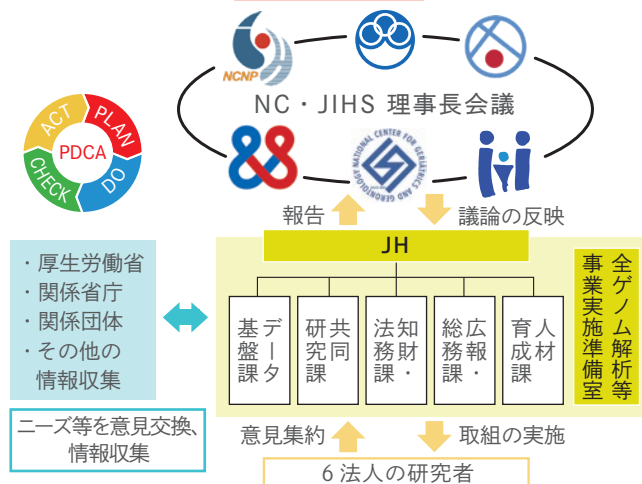
ナショナルセンター医療研究連携推進本部（JapanHealth Research Promotion Bureau：JH）は、国立がん研究センター、国立循環器病研究センター、国立精神・神経医療研究センター、国立成育医療研究センター、国立長寿医療研究センターの5つの国立高度専門医療研究センター（NC）と国立健康危機管理研究機構（JIHS）が世界最高水準の研究開発・医療を目指して新たなイノベーションを創出するために、ナショナルセンターの資源・情報を集約し、それぞれの専門性を生かしつつ有機的・機能的連携を行うこと。またそれにより、日本全体の臨床研究力の向上に資することを目的としています。

全体的方針

上記ミッションを達成するため、以下のことを実現します。

- 新たなニーズに対応した研究開発機能を支援・強化
- 6法人連携で効果的な研究開発が期待される領域の取り組みを支援・強化
- 6法人全体として研究成果の実臨床への展開を支援・強化

運営体制



全ゲノム解析等事業実施準備室

2023年3月に、「全ゲノム解析等事業実施準備室」がJH内に設置された。事業実施組織は、厚生労働省の委託事業として国立がん研究センター内に設置され、発足後3年を目途に独自組織に移行する場合を含めた具体的道筋を検討することとなった。同準備室は、2025年度の事業実施組織の発足に向けた具体的な体制整備を進めている。

これまでの主な取り組み

新たなニーズに対応した研究開発機能を支援・強化

6法人間のインターネットの超高速化を支援し、JH Super Highwayとして、全ての関連施設（6法人・9施設）にて10Gbpsでの接続を完了。

6法人の電子カルテを統合したデータベース（6NC-EHRs）を構築。6法人より研究利用可能な約100万人分、6億レコードの臨床データを蓄積。このデータを活用した研究を開始。

研究支援人材の育成に取り組むため、各法人の研究支援人材部門の実態調査等を実施。特に生物統計分野においては、6法人が連携し実務を通じた人材育成の支援事業を継続。

6法人共通教育プラットフォームを構築し、疾患領域横断的な人材育成のため、連携による教育・研修コンテンツの配信とコンテンツの品質管理と補充のための運営体制を構築。

6法人連携で効果的な研究開発が期待される領域の取り組みを支援・強化

横断的推進研究費14課題の進捗管理及び外部評価を実施した。また、2025年度一般課題と指定課題の審査を行い、2課題ずつ、合計4課題を採択し、研究開発を推進した。

6法人連携若手研究助成26課題の進捗管理及び中間評価を実施し、研究開発を推進した。また、2025年度若手研究助成新規課題の審査を行い、12課題を採択し、進捗管理・評価を行った。

6法人全体として研究成果の実臨床への展開を支援・強化

6法人共通で構築した知財・法務に関する相談スキームを構築し、6法人間における知見・課題の共有や、支援・強化を推進。

JHが支援している研究課題や論文業績等についてJHのホームページを充実。

JHが支援している研究

横断的研究推進費課題

2022年度～2025年度開始

18課題



URL <https://www.japanhealth.jp/project/research/index.html>

若手研究助成課題

2023年度～2025年度開始

38課題



6NC-EHRs利活用研究課題

2022年度～2024年度開始

8課題



具体的な主な成果

6法人連携電子カルテ統合データベースの拡充と利活用推進



2021年度に構築した、6法人の電子カルテの統合データベース（6NC-EHRs）を拡充。

6法人に所属する職員は、6NC-EHRsのデータを研究に利活用することが可能。2022年度より課題の公募を実施し、8課題について研究が進められている。

各法人を繋ぐ、プラットフォーム化し得るバイオモデルとして、病態可視化透明魚、iPS細胞や癌組織由来の細胞を用いたオルガノイド、ミニ臓器を作製・活用する研究基盤を整備



JH研究費の記載のある論文業績

- ・2021年 18報 Impact factor 178.128
- ・2022年 42報 Impact factor 294.330
- ・2023年 67報 Impact factor 368.534
- ・2024年 55報 Impact factor 332.79

若手研究者や研究支援人材に係る人材育成を開始



2021年度より新たに6法人の若手研究者を対象とした若手研究助成を開始。

研究支援人材、特に生物統計分野で、疾患横断的な研鑽を積む環境を整備し、6法人連携を通じた人材育成事業を開始。

JHリトリート2025を開催し、6法人若手研究者の人材育成とJHの取り組みを発信



「ゲノム解析が切り拓く新たな医療の展開」をメインテーマに掲げ、ナショナルセンター、厚生労働省で活躍するリーダーの先生方に最新の知見を講演いただき、若手研究者のポスターセッションを開催。

若手研究者のポスターセッション（発表演題：145題）では、6法人の研究者・医療者の交流を図り、優秀な演題については、理事長賞及びJH本部長賞の表彰を行った。

